

DLP® プロジェクター

RICOH PJ WXC1210



■ 機器概要

本製品は、手のひらに収まるサイズと、約500グラムの超軽量ボディでありながら、RGBLED光源により輝度800lmを実現。さらに短焦点レンズを搭載し、オートフォーカス機能や、ミラーリングデバイスへのUSB給電などを備えた、高性能で実用的なハンディプロジェクターです。

■ 機器仕様

		RICOH PJ WXC1210
方式		単板DLP®方式
画面素数		1,024,000画素 (1,280×800)
パネル形状	サイズ	0.45型
	アスペクト比	16 : 10
出力光束 (明るさ) * 1		800lm
エコモード時の出力光束 (参考値)		170lm
色再現性		24ビット16.7M color
コントラスト比 * 1		40,000 : 1
投写画面サイズ		30~100インチ
投写距離		0.52~1.72m
光源		RGB LED
光源寿命		20000時間
R G B 対応信号 (アナログ、デジタル)	リアル解像度	WXGA、XGA、SVGA、VGA
	圧縮表示	WUXGA、FullHD、UXGA、SXGA
USBメモリー対応ファイル形式		JPEG(*.jpg, *.jpeg), BMP, MPEG1/2(*.mpg, *.mpeg), H264(*.mov, *.mp4), MPEG4(*.mov, *.mp4), MP3, AAC, M4A, PDF, WORD (Word2010以前)、EXCEL(Excel2010以前)、POWERPOINT(Powerpoint2010以前)
投写レンズ	明るさ : F 値	F : 1.9
	焦点距離 : f 値	f : 8.02mm
	倍率	-
	ズーム	-
	フォーカス	自動
インターフェース	レンズシフト	-
	コンピューター入力	HDMI (HDMI1.4、タイプA、HDCP1.1) USBタイプC (DisplayPort Alt モード、HDCP1.3)
	コンピューター出力	-
	ビデオ入力	・MicroSD/MicroSDHC(最大32G) ・Micro SDXC 64GB (NTFSフォーマットが必要)
	ビデオ出力	-
	音声入力	-
	音声出力	-
	USB	・USBタイプC (ACアダプター用) ・USBタイプC : 電源出力5V 1.5A (最大) ,デジタルビデオ/オーディオ入力 (Displayport ALTモード HDCP1.3) ・USBタイプA : 電源出力5V 0.5A (最大) *2, 最大64GB (FAT32/NTFS)
RS232C	-	

台形歪み補正の種類/範囲	自動台形補正（垂直） / 補正角度±40°	
設置方法	床置き前面。床置き背面、天吊り前面、天吊り背面	
360°投影	ピッチ・ロール（任意方向可能）	
内蔵スピーカー	1.5Wモノラル	
寸法（W×D×H）	112.5 x 105 x 43.9 mm（突起部含まず）	
質量	約0.5kg	
消費電力	稼働時	標準モード：85W、エコモード：25W
	待機時	0.5W 以下
使用環境	温度0～40℃、湿度0～80%（非結露）	
電源	100V、50Hz/60Hz	
本体同梱品	ケーブル	HDMIケーブル
	CD-ROM	ユーザーマニュアル、はじめにお読みください
	キャリングケース	キャリーバッグ
	リモコン	ワイヤレスリモコン
	その他	ACアダプター、電源コード、保証書、リモコン用単4電池x2
本体保証期間	3年間無償保証*3	

- * 1 出荷時における本製品の全体的な平均値で、JIS X6911：2015データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しており、測定方法・測定条件については、附属書に基づいています。
- * 2 メディア機能(USB/MicroSD内ファイルの表示・再生)を使用していないときは、最大5V1Aの出力が可能です。
- * 3 付属のケーブルは本体保証期間の対象とはなりません。天吊り・壁掛け設置の場合、機械の上げ下ろし作業は別途、個別のお見積となります。RICOH PJ WXC1210の保守サービスに関する内容は、リコー製品ホームページ (<https://www.ricoh.co.jp/projector/>)をご覧ください。

※本機にはサインネージ用途用の以下の機能があります。

• Media自動再生機能

SDカードのルートに「AutoVideo」という名前のフォルダーを置くと、電源投入時にその中のファイルを順次自動的に再生します。その際、電源キー以外のキーは操作できません。

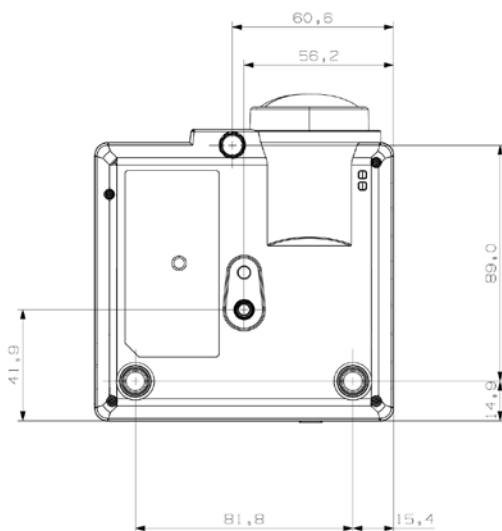
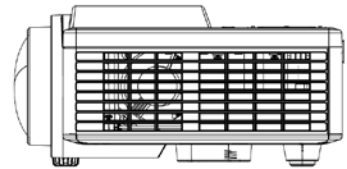
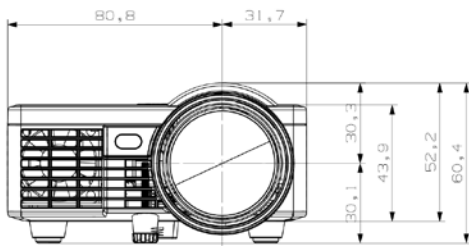
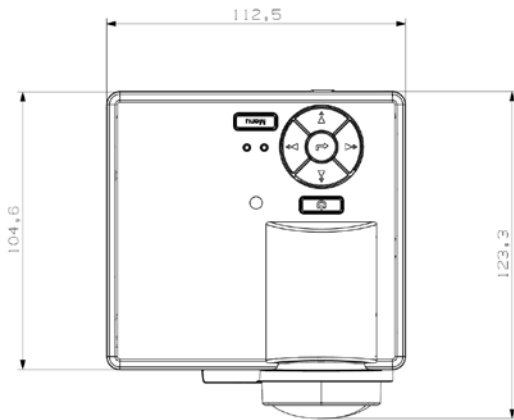
• Audio出力

USB-C – Audio出カケーブル（アナログタイプ）を使用することにより、Meida、HDMI入力時の音声を外部に出すことができます。

（動作確認済みケーブル：ELECOM AD-C35BK）

■ 外形寸法図

(単位 : mm)



■ 投写距離と画面サイズの関係

プロジェクターとスクリーンの距離によって、投写される画像のサイズは異なります。

表を参考にして、適切な位置に本機を設置してください。

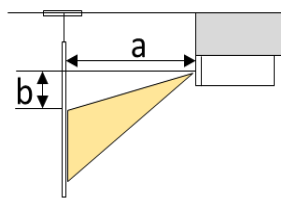
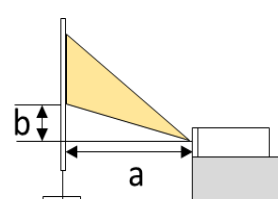
投写距離は最大表示解像度の映像を台形補正なしで投写したときのおおよその値です。

投写距離計算式は簡易計算式のため若干の誤差があります。

弊社ホームページの「投写距離シミュレーター」もあわせてご活用ください。

<http://www.ricoh.co.jp/projector/simulator/>

◆ 投写距離と画面サイズ一覧



- ・投写距離a：投写面から、光学位置までの距離
- ・投写高さb：画面下端から、光学位置までの距離

<画面アスペクト比 16:10>

画面サイズ(型、インチ)	30	40	50	60	70	80	90	100
投写距離 a (m)	0.52	0.69	0.86	1.03	1.21	1.38	1.55	1.72
投写高さ b (cm)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

投写距離 a 計算式	投写高さ b 計算式
$\frac{\text{画面サイズ(型)} - 0}{58.030}$	画面サイズ(型) × 0

<画面アスペクト比 16:9>

画面サイズ(型、インチ)	30	40	50	60	70	80	90
投写距離 a (m)	0.55	0.73	0.92	1.10	1.29	1.47	1.65
投写高さ b (cm)	2.1	2.8	3.5	4.1	4.8	5.5	6.2

投写距離 a 計算式	投写高さ b 計算式
$\frac{\text{画面サイズ(型)} - 0}{54.460}$	画面サイズ(型) × 0.069

<画面アスペクト比 4:3>

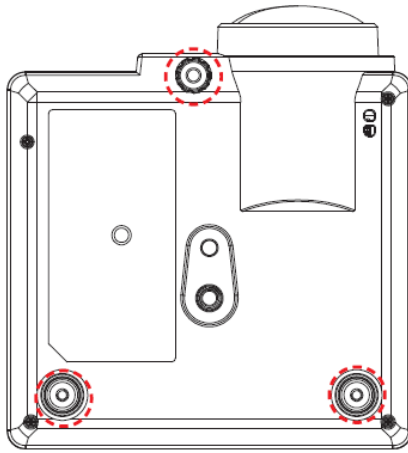
画面サイズ(型、インチ)	30	40	50	60	70	80	90
投写距離 a (m)	0.59	0.78	0.98	1.17	1.37	1.56	1.76
投写高さ b (cm)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

投写距離 a 計算式	投写高さ b 計算式
$\frac{\text{画面サイズ(型)} - 0}{51.260}$	画面サイズ(型) × 0

■ 設置の注意点

設置をされるかたへ

- 本機の質量（約0.5kg）に耐えられる強度の金具を使用してください。
- 本機と金具の総質量に耐えられる強度の場所だけに設置してください。
- 金具の取り付けには、前側はM4ねじ（プロジェクター内最大9mm）1本、後ろ側はM3ねじ（プロジェクター内最大7mm）2本を使用してください。
- 壁掛け・天吊り用のねじ穴は、本機底面の次の3カ所にあります。後ろ側のねじ穴は、足の裏側のゴムを剥がすとゴムの下にあります。金具の取り付けにはすべてのねじ穴を使用して、ねじがしっかりと締まっているか確認してください。



⚠ 警告



- 油煙が多い場所や薬品等が付着しやすい場所に天吊り・壁掛け設置しないでください。プロジェクターの樹脂が劣化し落下による事故の原因になります。
- 天吊り・壁掛け設置しているときは、本機を清掃したり、部品の交換をしたりしないでください。落下によるけがの原因になります。
- 天吊り・壁掛け設置しているときは、本機の清掃や部品の交換を販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

⚠ 警告



- 本機の天吊り・壁掛け設置は、正しく設置されていないと落下などによる事故の原因となります。天吊り・壁掛け設置は、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。
- 本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

警告

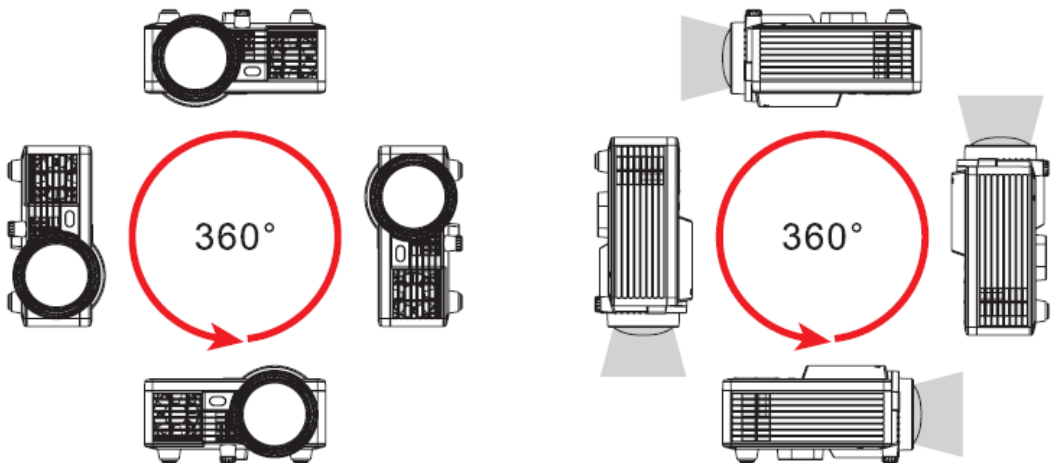


- ・360度設置を行う場合は本機の設置は、正しく固定されていないと落下などによる事故の原因となります。販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

360° 設置

本機は、360度どの方向に向けても設置して投影することができます。

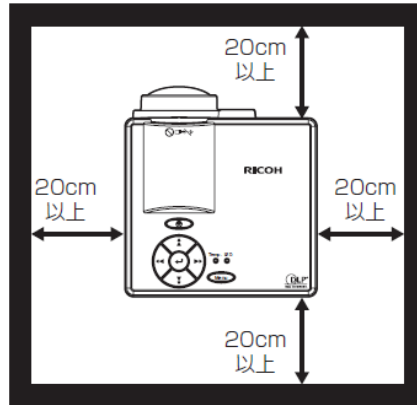
- ・プロジェクターは、プロジェクターおよびブラケットの全重量をサポートするのに十分頑丈である場所に取り付ける必要があります。(PJ WXC1210シリーズの重量は約 0.5 ± 0.03kg です)。
- ・プロジェクターがブラケットにしっかりと固定されていることを確認してください。



⚠注意



- 設置を行う場合、吸気口と壁との間は20cm以上、排気口と壁との間は20cm以上、その他の面と壁との間は20cm以上離して設置してください。プロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。



⚠注意



- 本機を横に並べて設置するときは、プロジェクター間の距離を40cm以上離して設置してください。

